

外国語科 単元の指導と評価の計画

竹原市立竹原中学校

教諭 重元 優樹

1 対象 中学校第1学年

2 単元名 Unit6 A Speech about My Brother (NEW HORIZON English Course 1 (東京書籍))

<単元の概要>

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年告示) 外国語 各言語の目標及び内容等 目標(4) 話すこと[発表] ア「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。」を踏まえて設定している。また、文法事項としては三人称単数現在形を扱っている。

本単元では、具体的な課題を「ALTに、自分の友達や学校の先生について知ってもらうために、友達や先生のことについて紹介しよう。」と設定し、パフォーマンステストに向けて必要な資質・能力を身に付けていくための言語活動を設定している。これらの言語活動を通して、生徒が紹介したい人物についての情報を詳しく伝えたり、その場で内容を整理して話したりすることができるようになることを目標とする。主な言語活動の直後には、生徒がルーブリックに示された項目に照らして自分の学習状況を把握したり、相互評価を行ったりする活動を設定している。

生徒の学習改善を促すために「ステップアップシート」を目標の共有場面や言語活動直後の自己評価や相互評価の場面で活用する。

3 内容のまとめ 「話すこと[発表]」ア

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。

4 単元の目標

ALTやクラスメイトに自分の友達や学校の先生のことを知ってもらうために、友達や先生のことについて、これまでに学習した語句や文を用いて即興で内容を整理して話すことができる。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	- 三人称単数現在形の特徴やきまりを理解している。 - 身近な人物について、三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付けている。	ALTやクラスメイトに自分の友達や学校の先生について知ってもらうために、友達や学校の先生について、これまでに学習した語句や文を用いて即興で内容を整理して話している。	ALTやクラスメイトに自分の友達や学校の先生について知ってもらうために、友達や学校の先生について、これまでに学習した語句や文を用いて即興で内容を整理して話そうとしている。

6 具体的な課題と採点の基準等

以下は「思考・判断・表現」の観点の評価するパフォーマンステストの問題である。

具体的な課題	ALTに、自分の友達や学校の先生について知ってもらうために、友達や先生のことについて紹介しよう。
採点の基準	「おおむね満足できる」状況と判断する基準(B) 次の三つの条件を満たしている。

	条件1 友達や学校の先生について紹介したいことを伝えている。 条件2 三つの紹介したい話題に関連する情報を三つ以上加えて、詳しく伝えている。 条件3 その場で内容を整理して話している。
「おおむね満足できる状況」と判断する生徒の発話例	Hi,○○. Look at this picture. This is Nana, my friend. She is 13 years old. She lives in Takehara. She likes sports. She plays tennis every day. She is a good tennis player. She doesn't like baseball. She likes eating. She likes curry and rice. She can cook curry and rice well. She doesn't like spicy food. She has a dog. Its name is Shiro. It's very cute. She walks her dog every day. I have a dog, too. Thank you.

7 指導と評価

(1) 知識・技能

「知識」の指導については、最初に他者を紹介する英文を聞いたり読んだりする活動を通して、三人称単数現在形の特徴やきまりを理解させる。そして、絵や写真に示された人物について話したり書いたりする活動を通して、主語が一人称や二人称のときと、三人称のときとでは、動詞や助動詞(do,does)の形が異なることなどについて気付きを促すようにする。

記録に残す評価はペーパーテストで行う。ペーパーテストでは、ある人物について与えられた情報を基にその人物を紹介する問題を作成し、三人称単数現在形の使用の正確さを評価する。

指導に生かす評価はペーパーテストに至るまでの言語活動において行う。その際、三人称単数現在形の特徴やきまりを理解せず、正確に話したり書いたりしていないというつまずきが想定される。このようなつまずきに対しては、主語が一人称や二人称の文から三人称の文への書き替えといった練習活動にとどまらないよう、絵や写真を用いた表現活動や三人称単数現在形を使った生徒とのやり取りを豊富に行うようにする。

(2) 思考・判断・表現

本単元では、他者について、即興で内容を整理して話すことができるようにすることを目標にしている。本単元における「即興で内容を整理して話す」とは、その場で伝えたい内容について事実やそれに関連する情報を整理して説明することを意味している。この目標の実現に向けて、主な言語活動を3回実施し、段階的に事実やそれに関連する情報を整理して話すことの指導を行う。

記録に残す評価を行うパフォーマンステストでは、「ALTに自分の友達や学校の先生について知ってもらうために、友達や先生のことについて紹介する」という課題を設定する。生徒は事前に友達や先生にインタビューを行い、そこで得た情報を基に紹介する内容を考える。パフォーマンステストに至るまでの指導として、1回目の言語活動では、友達や学校の先生について伝えたいことを考え、マッピングを活用して内容を整理して話すこと、2回目の言語活動では、友達や先生にインタビューして得た情報を付け加えて、内容を整理して話すこと、3回目の言語活動では、教師や友達からの助言を基に内容を再構成して話すことができるように指導する。(以下、各回の言語活動を「言語活動①・②・③」とす

る。)

指導に生かす評価は、主に言語活動①・②・③の場面で行う。その際、次のようなつまずきが想定される。

○事実の羅列になっている

He likes baseball. He likes animals. He likes singing.

○どのようなことが詳しい情報なのか分からない。

○関連する情報を添えているが、文と文を適切な順序で述べていない。

He likes animals. He walks his dog every day. He has a dog.

これらのつまずきに対しては、主に次のような手立てを講じる。

○事実の羅列になっている場合は、どの事実について最も伝えたいかを選ばせ、その事実に関連する情報をマッピングに付け加えさせる。

○文と文を適切な順序で述べていない場合やどのようなことが関連する情報なのか分からない場合は、教科書本文や評価規準を満たしている生徒の発表を参考にさせたり、第7・8時で共有した本時のCAN-DOリストの「詳しく伝える」、「内容を整理する」ために必要な要素を見直させたりして、生徒自身が文と文の関連性に気付くことができるようなフィードバックを行う。また、相互評価においても、生徒が本時のCAN-DOリストと照らして改善案を伝え合えるように指導する。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

単元の始めに、「ステップアップシート」を用いて単元の目標と単元の評価規準を共有し、目標の実現のために言語活動①～③と単元末にパフォーマンステストに取り組むことを伝え、学習の見通しをもたせる。

指導に生かす評価は、言語活動①～③の中で、目的や場面、状況等を意識して試行錯誤しながら話している姿や、他者からのアドバイス等を参考にしながら自分の学習状況を振り返ったり、改善したりしている姿を「ステップアップシート」の記述や行動観察、録画により見取る。その際、評価規準に照らして、生徒の学習状況がどの点でよいのか、どの点に課題があるのか、次にどのように学習に取り組めばよいのかについて生徒との対話を通して指導する。

記録に残す評価は、生徒自身が、単元の目標と自己目標を意識して言語活動に取り組み、評価規準に照らして自分の表現のよい点や改善点を把握し、表現内容を再構築しようとしているかを見取る。具体的には、言語活動②と③の後に、評価規準や本時のCAN-DOリストと照らし合わせながら、できたことやできなかったこととその理由を「ステップアップシート」に記入させ、その記述内容とこれまでの行動観察の状況とを併せて評価する。

8 単元計画

時	各時間の目標 (■) 主な言語活動等 (・)	○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価 () 評価方法	形成的評価の実践上の ポイント
1	■三人称単数現在形(肯定文)の特徴や		
2	きまりについて理解するとともに、		

	絵や写真の人物の習慣などについて説明することができる。 ・単元の目標と評価規準を確認し、自己目標を設定する。(第1時) ・教師による他者についての説明を聞き、主語が一人称や二人称の文との違いについて気付きを述べる。 ・教科書本文 (Preview) を読んで、他者について表現している文の特徴を見付け、下線を引く。 ・他者について表現する文の特徴について全体で確認し合う。 ・三人称単数現在形の肯定文のきまりについて説明を聞く。 ・モニターに映された人物の習慣などについて、三人称単数現在形の肯定文を用いて話して説明する。 ・ペアで相互評価を行う。 ・ワークシートに示された人物の習慣などについて、三人称単数現在形の肯定文を使って表現する文を書く。	○知 (ワークシート)	③「ステップアップシート」を用いて、単元の目標及び単元の評価規準を共有する。 ④本時のCAN-DOリストに照らして、よいところやどのように改善したらよいかを伝え合うように指導する。 ⑤Haruka study English. といった誤りに対しては、「主語は何人称ですか。」などのように指摘して誤りに気付かせ、「ステップアップシート」の「主語による使い分け」の表を確認させて、三人称単数現在形の文のきまりを再度確認させる。
3 4	■三人称単数現在形 (否定文) の特徴やきまりについて理解するとともに、絵や写真の人物の習慣などについて説明することができる。 ・教師が提示したヒントから、キャラクターや人物を当てるクイズに答える。		⑤前時に全体で多かった誤りを共有し、評価規準と照らし合わせて確認する。

	・ ヒントで使われていた否定文と主語が一人称や二人称の否定文との違いについて気付きを述べる。 ・ モニターに映された人物の習慣などについて、三人称単数現在形の肯定文や否定文を用いて説明する。 ・ ペアになり「ステップアップシート」に示された人物の習慣などについて三人称単数現在形の肯定文や否定文を用いて説明し合い、相互評価を行う。	⑤「他にどんなヒントが考えられる？」と問い、生徒にもヒントを考えさせ、三人称単数の文を使うよう促す。 ⑤ Haruka don't have cats. といった誤りに対しては、ワークシートの「主語による don't, doesn't の使い分け」を確認させ、三人称単数現在形の文のきまりを再度確認させる。 ④「ステップアップシート」に示された本時のCAN-DOリストに照らして、よいところや改善した方がよいところを伝え合うように指導する。
5	■三人称単数現在形（疑問文）の特徴やきまりを理解するとともに、インフォメーションギャップ活動において、質問をしたり答えたりすることができる。 ・ 三人称単数現在形の疑問文の特徴やきまりについて説明を聞き、ワークシートの問題を解く。 ・ ペアになり、相手がもっている他者の情報について質問をし合い、知りたい情報を得る。 ・ ペアで相互評価を行う。	⑤Do と Does の使い分けを誤っている生徒に対しては、ワークシートの「主語による Do, Does の使い分け」を確認させ、三人称単数現在形の文のきまりを再度確認させる。 ④本時のCAN-DOリストに照らして、よいところや改善した方がよいところを伝え合うように指導する。

6	■他者紹介のスピーチ (Story1・2) を聞いたり読んだりして概要を捉える。 ・スピーチを聞く前に、内容に関する質問を聞き、その答えをワークシートに書く。 ・教科書本文を読んで、卓也について分かったことをワークシートの表に項目別書き出す。(週末にすること・普段すること) ・個人で書き出した内容について、ペアで交流する。 (例)・Takuya enjoys scuba diving. ・Takuya writes a blog.	本単元では「聞くこと」「読むこと」の記録に残す評価は行わないが、学習活動への取組状況等から、本文の概要を把握しているかを確認し、把握できていない生徒には、個人のタブレットで再度聞かせたり、関連する情報を述べている段落を再度読ませたりするなどの指導を行う。	
7 8	■相手に分かりやすく伝えるために、スピーチの内容をどのように整理すればよいか理解する。 ・黒板に提示された評価規準を満たしているスピーチの例(例①)と満たしていないスピーチの例(例②)を読む。(黒板には1文ずつの英文カードが並んで貼られている) ・例①と例②の英文を、マッピングにどのようにつなげて配置すればよいかを考え、それぞれのマッピングに1文ずつ書き込む。 ・例①と例②のどちらが一つの紹介したい話題について詳しく伝えているかを考える。(個人) ・選んだ例とその理由をクラス全体で共有する。 ・例①では、ある一つの話題とそのことについての詳しい情報がどのように整理されているかについて、クラス全体で気付きを出し合い、共有する。 ・「詳しく伝える」、「内容を整理する」を満たす要素についてクラス全体で		③単元の評価規準を確認し、「詳しく伝える」「内容を整理する」とはどのようなことかについて考えさせ、評価規準を満たす要素を生徒の言葉で引き出す。

	検討し、ワークシートに書き込む。 - 全体で確認した要素を基に、教科書を閉じた状態で、黒板に貼られた教科書本文の英文カードを並べ替えて文章を完成させ、ワークシートに書く。 (個人) - グループ内で、個人で並べ替えた文章とそうように並べ替えた理由を共有する。 - 各グループで並べ替えた文章とその理由をクラス全体で共有し、「詳しく伝える」、「内容を整理する」を満たす要素について再度確認する。		③共有した要素を相互評価やパフォーマンステストの評価規準として本時のCAN-DOリストに書きこませ、共有する。 【詳しく伝えるための要素の例】一つの紹介したいことについての詳しい情報を伝える。 【内容を整理して伝えるための要素の例】紹介したいことと詳しい情報を関連付けて伝える。
9	■ALTに友達や学校の先生について紹介するために、友達や先生について内容を整理して話すことができる。 - 友達や先生について伝えたい情報をマッピングに書き出す。 - マッピングに書き出した情報を英語でどのように表現すればよいか考える。 言語活動① マッピングに書き出した情報を基に、ペアで友達や先生について紹介し合う。 - ペアで相互評価を行う。	○思（発表）	

	・相互評価のアドバイスを基に、内容を再構成する。 ・別のペアで先生や友達について紹介し合い、相互評価を行う。 ・スピーチ文をよりよくするために、他にどのような情報が必要かを考える。 ・評価規準と本時のCAN-DOリストに照らして、できたことや分からなかったことをステップアップシートの振り返り欄に記入する。	○主（行動観察・ステップアップシート）	④前時に共有した評価規準を満たす要素に照らして、よいところや改善した方がよいところを伝え合うように指導する。 ⑤振り返り欄の記述に対して、何ができているのか、あるいは何を改善したらよいかについて気付きを促すコメントを書く。 例：「テニスが好き」ということについて、もっと詳しい情報はあかな。」
10	■紹介に必要な情報を収集するために、友達や先生にインタビューする内容を考えることができる。 ・教科書の対話文（Story3）でどのようなことを質問しているかを把握する。 ・第9時で考えた友達や先生の紹介をよりよくするために、更に必要な情報は何かを考え、友達や先生にインタビューすることをワークシートに書き出す。 ・質問をして得た情報を新たにマッピングに付け加える。		③評価規準と本時のCAN-DOリストを見ながら、更に必要な情報は何かを考えさせ、一つの事実に関連する詳しい情報を収集する必要があることに気付かせる。
11	■ALTに友達や学校の先生について紹介するために、友達や先生について内容を整理して話すことができる。		

	言語活動② 友達や先生にインタビューして得た情報を、第9時に考えたマッピングに加えて内容を整理して話す。 ・新たに得た情報をマッピングに加える。 ・グループで、友達や先生について紹介し合う。 ・紹介の内容について、本時のCAN-DOリストに照らして相互評価を行う。 ・相互評価のアドバイスを基に、内容を再構成する。 ・本時のCAN-DOリストを基に、自己目標の達成状況を振り返り、できるようになったこととその理由、分からないことや疑問を振り返り欄に記入する。	○思（発表） ◎主（行動観察・ステップアップシート）	④本時のCAN-DOリストを活用し、グループで助言をし合うように指導する。 ⑤相互評価の助言による修正が難しい生徒には、文と文の関連を見直させ、どのような順番で話すと分かりやすいか気付くことができるように助言する。 ⑤振り返り欄の記述に対して、次にどのような学習に取り組めばよいかについてコメントを書く。
12	■ALTに友達や学校の先生について紹介するために、友達や先生について内容を整理して話すことができる。 言語活動③ 友達や教師からのフィードバック等を基に、内容を再構成して発表する。 ・第11時の相互評価で友達からもらった助言やステップアップシートに書かれた教師からのフィードバックを参考にして、内容を再構成する。	○思（発表）	

	・ペアで発表し合い、前回より良くなったところやパフォーマンステストに向けて改善した方がよいところをお互いに伝える。 ・本時のCAN-DOリストを基に、自己目標の達成状況を振り返り、できるようになったこととその理由、工夫した点をステップアップシートに記入するとともに、パフォーマンステストに向けて自己の課題を明確にする。	◎主（行動観察・ステップアップシート）	④本時のCAN-DOリストに照らして相互評価を行わせる。 ⑤自己の学習状況を捉えることができていない生徒には、できていることを伝えたり、課題の解決に向けて何に取り組めばよいかを考えさせるようなフィードバックを行う。
13	パフォーマンステスト ペーパーテスト	◎思（パフォーマンステスト） ◎知（ペーパーテスト）	

Unit6

A Speech about My Brother

Class () No. ()

Name ()

《 ステップアップシート 》

【単元の目標】

ALT やクラスメイトに自分の友達や学校の先生のことを知ってもらうために、友達や先生のことについてこれまでに学習した語句や文を使って、即興で内容を整理して話すことができる。

【単元の目標】を達成するためにできるようになってほしいこと

【新しく学習した文法を使う力】

1. 三人称単数形（一般動詞に s,es,ies）の特徴やきまりを理解する。
2. 三人称単数形（doesn't + 一般動詞の原形）の特徴やきまりを理解する。
3. 三人称単数形（Does + 主語 + 一般動詞の原形？）の特徴やきまりを理解する。
4. 三人称単数形を使って、他者についての紹介を話したり書いたりする。

【考える・判断する・表現する力】

1. 他者を紹介するために、「相手に詳しく伝える」「内容を整理する」とは何かを考える。
2. 他者を紹介するために、他者から情報を聞き出し、必要な情報を選ぶ。
3. 選んだ必要な情報を使って、他者を紹介する。
4. 原稿などを見ることなしに、その場で他者について紹介する。

【主体的に学習に取り組む態度】

1. 何のために学習するのかを理解し、難しいと感じることも、今まで学習した語句や文を使って、最後までやり遂げようとする。
2. 友達や先生からのアドバイスをもとに、より良いスピーチになるように改善をする。
3. 「どんな課題があるか」「次に何を頑張ればよいか」など、自分の学習を前向きに振り返る。

「今日学習していることはどんな力を付けるためだろう」と考えながら、自分で目標を立てて学習を進めていこう。

時間	Day & Date	Today's goals (めあて)	Review できたことや気付いたこと、できなかったこと、 遅かったこと、早間に遅ったことなど	For the Next 次の時間に解決したいことや 取り組みたいことなど
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				

本時の目標

【「新しく学習した文法を使う力」を身に付ける】

1. 三人称単数形（一般動詞に s,es,ies）の特徴やきまりを理解することができる。
 4. 三人称単数形を使って、他者についての紹介を話したり書いたりすることができる。
- 本時の CAN-DO リスト（この時間にできるようになってほしいこと）

項目
ワークシートの「主語による使い分け」の表を見なくても、主語が三人称単数かどうか分かる。 ◎：見なくても分かる ○：見たら分かる △：見ても難しい
主語が三人称単数のとき、一般動詞に s,es,ies を正しく付けている。 ◎：間違いがない ○：間違いが1～2か所 △：間違いが3か所以上
ワークシートの「s,es,ies の付け方」の表を見なくても、自分の力で一般動詞に s,es,ies を正しく付けている。 ◎：見なくてもできる ○：見たらできる △：見ても難しい

【問題1】（英文1）（英文2）を読み、2つの英文を比べて、どのようなことに気付きますか。
 できるだけたくさんの気づきを書きましょう。

（英文1） Hello, I'm Takehara Taro. I'm thirteen. I live in Takehara. I go to Takehara Junior High School. I like sports. I'm in the tennis club. I'm good at playing tennis. I like reading books, too. I like manga. I like ONE PIECE. I often read ONE PIECE. It's very interesting manga. Thank you.	（英文2） Hello, I'm Takehara Taro. This is my friend, Jiro. He's thirteen. He lives in Takehara. He goes to Takehara Junior High School. He likes sports. He's in the tennis club. He's good at playing tennis. He likes reading books, too. He likes manga. He likes ONE PIECE. He often reads ONE PIECE. It's very interesting. Thank you.
--	---

（気づき）_____

「s,es,ies の付け方」の表

《 今まで書いていた一般動詞を使った文章 》

主語が「 I (私は)」「 You (あなたは)」「 We (私たちは)」「 They (彼らは/彼女らは/それらは)」で始まる文章。

(例) I like baseball. / You play the piano. / We watch TV. / They study English.

(私は野球が好きです。)/ (あなたはピアノを弾きます。)/ (私たちはテレビを見ます。)/ (彼らは英語を勉強します。)

《 今日学習する一般動詞を使った文章 》 = 三人称単数形 (一般動詞に s,es,ies を付けること)

主語が「 He (彼は)」「 She (彼女は)」「 It (それは)」「 Kaito (人名)」「 Japan (日本(国名))」で始まる文章は、一般動詞に「 s 」「 es 」「 ies 」のどれかを付けなければいけない。

(例) He likes baseball. / She plays the piano. / Kaito watches TV.

(彼は野球が好きです。) / (彼女はピアノを弾きます。) / (カイトはテレビを見ます。)

He studies English. (彼は英語を勉強します。) / She has a brother. (彼女は兄が1人います。)

☆ 三人称単数形 (一般動詞に s,es,ies を付けること) のルール ☆

- ① 主語が「 He (彼は)」「 She (彼女は)」「 It (それは)」「 Kaito (人名)」「 Japan (日本(国名))」の場合、必ず一般動詞に「 s 」「 es 」「 ies 」のどれかを付けなければいけない。

② 《 s,es,ies の付け方 》

基本的には一般動詞の後に <u>s</u>	play(～する) → plays use(使う) → uses like(～が好き) → likes speak(話す) → speaks
ch,sh,o,ss で終わる一般動詞は <u>es</u>	teach(教える) → teaches go(行く) → goes wash(洗う) → washes watch(見る) → watches miss(失敗する) → misses
子音+y で終わる一般動詞は <u>y</u> を <u>i</u> に変えて <u>es</u>	study(勉強する) → studies fly(飛ぶ) → flies try(試す・挑戦する) → tries cry(泣く) → cries
形が変わるもの	have(持っている、飼っている、ある、いる、食べる) → has

「主語による使い分け」の表

s,es,ies を付けない!!

I (私は) You (あなたは)

They (彼ら/彼女ら/それらは) We (私たちは)

OO and △△ (OOと△△は)

Children (子どもたちは)

s,es,ies を付ける!!

He (彼は) She (彼女は) It (それは)

人名 (例:kaito, Meg など) Child (子どもは)

My OO (私のOOは) Your OO (あなたのOOは)

This / That OO (このOOは)

【練習問題 1】 次の英文の主語をよく見て、正しい一般動詞を選びましょう。

- (1) I (like / likes) playing games.
- (2) He (play / plays) soccer every day.
- (3) Kaito (use / uses) this pen.
- (4) We (have / has) two brothers.
- (5) Meg and Kaito (watch / watches) TV.
- (6) My sister (study / studies) English and math very hard.

(発展問題)

- (7) They (can wash / can washes) their hands.
- (8) She (can go / can goes) to school today.

覚えておこう!
can の後ろの動詞は、
主語が何であっても原形
(s,es,ies を付けない)

【練習問題 2】 次の日本語に合う英文になるように、主語をよく見て、正しい一般動詞を書きましょう。

- (1) He _____ basketball five days a week. 【彼は週に5日バスケの練習をします。】
- (2) They _____ to read a new book. 【彼らは新しい本を読むことに挑戦します。】
- (3) Mr. Okamoto _____ science. 【岡本先生は理科を教えます。】
- (4) She _____ every day. 【彼女は毎日泳ぎます。】
- (5) We _____ a new bag. 【私たちは新しいかばんが必要です。】
- (6) Kaito _____ to be a teacher. 【カイトは先生になりたいです。】

【評価問題】

(1) 下の3つの情報から1つ選び、ペアの人にその人の情報を全て使って英語で紹介しなさい。

【情報1】 名前:カイト 関係:兄 住んでいる:東京 好き:バスケットボール その他:犬を2匹飼っている	【情報2】 名前:ハルカ 関係:姉 住んでいる:大阪 勉強している:英語 将来なりたいもの:医者	【情報3】 日本のアニメ Japanese Anime 名前:ジョシュ 関係:友達 住んでいる:オーストラリア 話す:英語と日本語 好き:日本のアニメ
--	--	--

(2) 先ほどペアの人に紹介した人について、その人の情報を全て使って英語で書きなさい。

項目		話す	書く
ワークシートの「主語による使い分け」の表を見なくても、主語が三人称単数かどうか分かる。 ◎:見なくても分かる ○:見たら分かる △:見ても難しい			
主語が三人称単数のとき、一般動詞に s,es,ies を正しく付けている。 ◎:間違いない ○:間違いが1~2か所 △:間違いが3か所以上			
ワークシートの「s,es,ies の付け方」の表を見なくても、自分の力で一般動詞に s,es,ies を正しく付けている。 ◎:見なくてもできる ○:見たらできる △:見ても難しい			
Lv(レベル)	できているところやよいところ	よりよくするためのアドバイス	

Lv4: 全て◎

Lv3: ◎と○の合計が3こ

Lv2: ◎と○の合計が2こ

Lv1: ◎と○の合計が1こ以下

本時の目標

【「新しく学習した文法を使う力」を身に付ける】

2. 三人称単数形 (doesn't + 一般動詞の原形) の特徴やきまりを理解することができる。

4. 三人称単数形を使って、他者についての紹介を話したり書いたりすることができる。

○ 本時の CAN-DO リスト (この時間にできるようになってほしいこと)

項目
主語によって、don't と doesn't を正しく使い分けている。また、doesn't の後ろの一般動詞は原形になっている。 ◎:間違いがない ○:間違いが1～2か所 △:間違いが3か所以上
ワークシートの「主語による don't と doesn't の使い分け」の表を見なくても、自分の力で don't と doesn't を正しく使い分けている。 ◎:見なくてもできる ○:見たらできる △:見ても難しい
文の形が「主語 + doesn't + 一般動詞の原形～」になっている。 ◎:間違いがない ○:間違いが1～2か所 △:間違いが3か所以上

【問題1】 (英文1) (英文2) を読み、2つの英文を比べて、どのようなことに気付きますか。

できるだけたくさんの気づきを書きましょう。

(英文1)

Hello, I'm Takehara Taro.

I'm thirteen. I like sports. I like
baseball. But I don't play baseball.

I like watching baseball games.

I'm a Carp fan. I like Akiyama Shogo.

He is a good baseball player. But I
don't like Matsuyama Ryuhei.

Baseball games are very fun.

Thank you.

(英文2)

Hello, I'm Takehara Taro. This is my

friend, Jiro. He's thirteen. He likes
sports. He likes baseball. But He

doesn't play baseball. He likes

watching baseball games. He's a Carp

fan. He likes Akiyama Shogo. He is a
good baseball player. But He doesn't

like Matsuyama Ryuhei. Baseball

games are very fun. Thank you.

(気づき)

《 今まで書いていた一般動詞を使った否定文の文章 》

主語が「 I (わたしは)」「 You (あなたは)」「 We (私たちは)」「 They (彼らは/彼女らは/それらは) 」で始まるを否定文にするときは、「don't」を使う。

(例) I don't like baseball. / You don't play the piano. / We don't watch TV.

(私は野球が嫌いです。) / (あなたはピアノを弾きません。) / (私たちはテレビを見ません。)

They don't study English. (彼らは英語を勉強しません。)

《 今日学習する一般動詞を使った否定文の文章 》

主語が「 He (彼は)」「 She (彼女は)」「 It (それは)」「 Kaito (人名)」「 Japan (日本(国名)) 」で始まる文章を否定文にするときは、「doesn't」を使う。動詞は原形のまま! s,es,ies を付けてはダメ!

(例) He doesn't like baseball. / She doesn't play the piano.

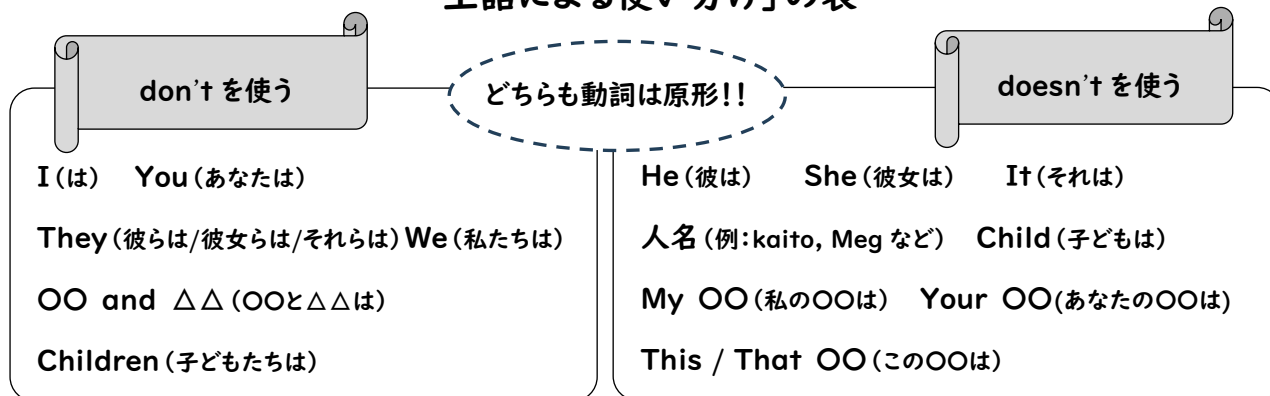
(彼は野球が嫌いです。) / (彼女はピアノを弾きません。)

Kaito doesn't watch TV. / He doesn't study English.

(カイトはテレビを見ません。) / (彼は英語を勉強しません。)

She doesn't have a brother. (彼女は兄がいません。)

「主語による使い分け」の表



【練習問題 1】 次の英文の主語をよく見て、正しい否定文を選びましょう。

- (1) I (doesn't like / don't like) playing games.
- (2) He (doesn't play / doesn't plays) soccer every day.
- (3) Kaito (don't use / doesn't use) this pen.
- (4) We (doesn't have / don't have) two brothers.

(5) Meg and Kaito (doesn't watches / don't watch) TV.

(6) My sister (doesn't study / doesn't studies) English and math very hard.

(発展問題)

(7) They (can wash / can washes) their hands.

(8) She (can't goes / can't go) to school today.

覚えておこう!
can't の後ろの動詞は、
主語が何であっても原形
(s,es,ies をけない)

【練習問題 2】 次の日本語に合う英文になるように、主語をよく見て、正しい否定文を書きましょう。

(1) He _____ basketball five days a week.

【彼は週に5日バスケの練習をしません。】

(2) They _____ to read a new book.

【彼らは新しい本を読むことに挑戦しません。】

(3) Mr. Okamoto _____ P.E.

【岡本先生は体育を教えません。】

(4) She _____ every day.

【彼女は毎日泳ぎません。】

(5) We _____ a new bag.

【私たちは新しいかばんが必要ではありません。】

(6) Kaito _____ to be a teacher.

【カイトは先生になりたくないです。】

【練習問題 3】 次の英文をすべて否定文に書きかえなさい。

(1) He speaks English well. _____

(2) Mai goes to Tokyo today. _____

(3) This bird flies. _____

(4) My sister studies English every day. _____

【評価問題】

(1) 下の3つの情報から1つ選び、ペアの人にその人の情報を全て使って英語で紹介しなさい。

【情報1】 名前:カイト 関係:兄 する:バスケットボール しない:野球 その他:犬を2匹飼っているが、 ネコは飼っていない	【情報2】 名前:ハルカ 関係:姉 好き:お好み焼き 嫌い:ゴーヤ その他:スマホは使うが、 タブレットは使わ ない	【情報3】 名前:ジョシュ 関係:友達 話す:英語 話さない:日本語 その他:You Tube は見るが、 Tik Tok は見ない
--	--	--

(2) 先ほどペアの相手に紹介した人について、その人の情報を全て使って英語で書きなさい。

項目		話す	書く
主語によって、don't と doesn't を正しく使い分けている。また、doesn't の後ろの一般動詞は原形になっている。			
◎:間違いがない ○:間違いが1～2か所 △:間違いが3か所以上			
ワークシートの「主語による don't と doesn't の使い分け」の表を見なくても、自分の力で don't と doesn't を正しく使い分けている。			
◎:見なくてもできる ○:見たらできる △:見ても難しい			
文の形が「主語 + doesn't + 一般動詞の原形～」になっている。			
◎:間違いがない ○:間違いが1～2か所 △:間違いが3か所以上			
Lv(レベル)	できているところやよいところ	よりよくするためのアドバイス	

Lv4: 全て◎

Lv3: ◎と○の合計が3こ

Lv2: ◎と○の合計が2こ

Lv1: ◎と○の合計が1こ以下

本時の目標

【「新しく学習した文法を使う力」を身に付ける】

3. 三人称単数形 (Does + 主語 + 一般動詞の原形?) の特徴やきまりを理解することができる。

4. 三人称単数形の疑問文を使って、他者について質問したり答えたりすることができる。

○ 本時の CAN-DO リスト (この時間にできるようになってほしいこと)

項目
主語によって、Do と Does を正しく使い分けている。また、Does の後ろの一般動詞は原形になっている。
◎:間違いがない ○:間違いが1~2か所 △:間違いが3か所以上
ワークシートの「主語による Do と Does の使い分け」の表を見なくても、自分の力で Do と Does を正しく使い分けている。
◎:見なくてもできる ○:見たらできる △:見ても難しい
文の形が「Does + 主語 + 一般動詞の原形〜?」になっている。
◎:間違いがない ○:間違いが1~2か所 △:間違いが3か所以上

《 今までに書いていた一般動詞を使った疑問文の文章 》

主語が「 I (私は)」「 you (あなたは)」「 we (私たちは)」「 they (彼らは/彼女らは/それらは)」で始まる文章を疑問文にするときは、「Do」を使う。

(例) Do you like baseball? / Do we watch TV? / Do they study English?
 (あなたは野球が好きですか。) / (私たちはテレビを見ますか。) / (彼らは英語を勉強しますか。)

《 今日学習する一般動詞を使った疑問文の文章 》

主語が「 he (彼は)」「 she (彼女は)」「 it (それは)」「 Kaito (人名)」「 Japan (日本(国名))」で始まる文章を疑問文にするときは、「Does」をう。動詞は原形のまま! s,es,ies をけてはダメ!

(例) Does he like baseball? / Does she play the piano?

(彼は野球が好きですか。) / (彼女はピアノを弾きますか。)

Does Kaito watch TV? / Does he study English?

(カイトはテレビを見ますか。) / (彼は英語を勉強しますか。)

Does she have a brother?

(彼女は兄が1人いますか。)

【Does の質問の答え方】

Yes, 主語 does.

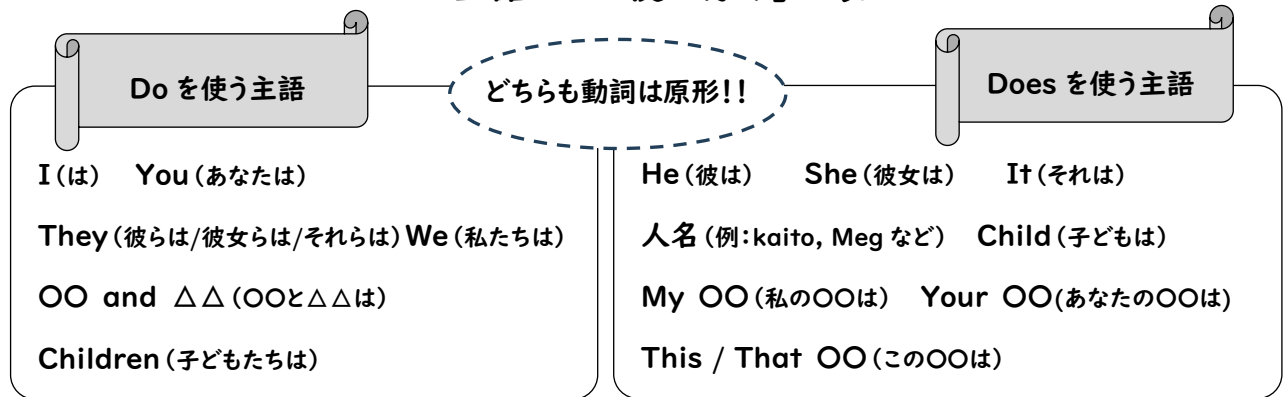
No, 主語 doesn't.

(例) Does he like natto?

Yes, he does.

No, he doesn't.

「主語による使い分け」の表



【練習問題 1】 次の英文の主語をよく見て、正しい疑問文を選びましょう。

- (1) (Do / Does) you play games?
- (2) (Does / Do) he play soccer every day?
- (3) (Do / Does) Kaito (use / uses) this pen?
- (4) (Do / Does) Meg and Kaito (watches / watch) TV?

【練習問題 2】 次の日本語に合う英文になるように、主語をよく見て、正しい否定文を書きましょう。

- (1) _____ she _____ basketball five days a week?
【彼女は週に5日バスケの練習をしますか。】
- (2) Yes, _____ .
【((1)の質問に対して)はい、そうです。】
- (3) _____ they _____ to read a new book? 【彼らは新しい本を読むことに挑戦しますか。】
- (4) No, _____ .
【((3)の質問に対して)いいえ、しません。】

【練習問題 3】 次の英文をすべて疑問文に書きかえなさい。

- (1) He speaks English well. _____
- (2) Mai goes to Tokyo today. _____
- (3) This bird flies. _____

【評価問題】

(1) ペアの人があなただの知りたい情報を知っています。お互いに質問し合い情報を手に入れましょう。

配られたプリントを貼りましょう

(2) 先ほどペアにした質問を、英語で書きましょう。

項目		話す	書く
主語によって、Do と Does を正しく使い分けている。また、Does の後ろの一般動詞は原形になっている。			
◎：間違いがない ○：間違いが1～2か所 △：間違いが3か所以上			
ワークシートの「主語による Do と Does の使い分け」の表を見なくても、自分の力で Do と Does を正しく使い分けている。			
◎：見なくてもできる ○：見たらできる △：見ても難しい			
文の形が「Does + 主語 + 一般動詞の原形～」になっている。			
◎：間違いがない ○：間違いが1～2か所 △：間違いが3か所以上			
Lv (レベル)	できているところやよいところ	よりよくするためのアドバイス	

Lv4: 全て◎

Lv3: ◎と○の合計が3こ

Lv2: ◎と○の合計が2こ

Lv1: ◎と○の合計が1こ以下

本時の目標

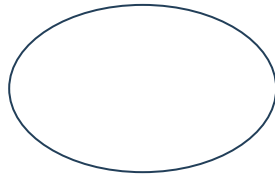
【「考える・判断する・表現する力」を身に付ける】

1. 他者を紹介するために、「相手に詳しく伝える」「内容を整理する」とは何かを考える。

【STEP1】「相手に詳しく伝える」「内容を整理する」とは何かを考えよう。

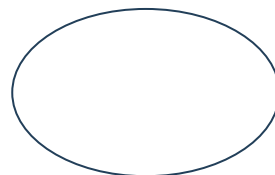
(1) 黒板に貼っている例文を見て、マッピングを完成させましょう。

【例文①】



【このマッピングにした理由】

【例文②】



【このマッピングにした理由】

(2) 黒板に貼っている文章を(1)で整理したことをもとに、1つの紹介文になるように、並べかえて書きましょう。

【上の文章にした理由】

※ 理由を書くときは、(1)のどのようなことを意識して並べたのかを具体的に書きましょう。

(3) どのようなことが書かれていれば、「詳しく伝える」「内容を整理して伝える」と言えるのでしょうか。

項目
【詳しく伝える】 ◎:全部満たしている ○:3つ満たしている △:2つ以下
【内容を整理して伝える】 ◎:全部満たしている ○:3つ満たしている △:2つ以下

【STEP2】 アサミが書いたスピーチ文を読み、内容をとらえよう。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

名前とアサミとの関係	(名前)	(アサミとの関係)
年齢と今住んでいる場所	(年齢)	歳 (今住んでいる場所)
学校での様子	① 語学学校で	を勉強している。
	② 語学学校で	と会っている。
	③ 語学学校には	通っている。
週末にしていること	ときどき	と一緒に楽しむ。
今住んでいる場所を どう思っているか	とても(本当に)	。
書いているもの	、	、
	について	を書いている。
どれ位の頻度で書いている	あまり	には書いていないが、よいが
	たくさんあり、とても楽しんでいる。	
防水カメラを持っていない 彼が、カメラをほしい理由		から。

本時の目標

【「考える・判断する・表現する力」を身に付ける】

- 2. 選んだ必要な情報を使って、他者を紹介する。
- 4. 原稿などを見ることなしに、その場で他者について紹介する。

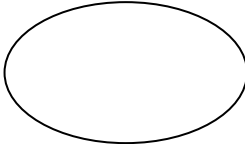
【「主体的に学習に取り組む態度」を身に付ける】

- 1. 何のために学習するのかを理解し難いと感じることでも、今まで学習した語句や文を使って、最後までやり遂げようとする。
- 2. 友達や先生からのアドバイスをもとに、より良いスピーチになるように改善をする。

○ 本時の CAN-DO リスト(この時間にできるようになってほしいこと)

項目	1回目	2回目
【詳しく伝える】 ・ <u>紹介する人の関係、年齢、誕生日などを伝えている。</u> ・ <u>紹介する人の大きい話題を3つ以上伝えている。</u> ・ <u>1つの大きい話題について、3つ以上情報を伝えている。</u> ・ <u>紹介する人との共通点や違う点を伝えている。</u> ◎:全部満たしている ○:3つ満たしている △:2つ以下		
【内容を整理して伝える】 ・ <u>紹介する人の基本情報を伝えている。</u> ・ <u>大きな話題から小さな話題で伝えている。</u> ・ <u>大きな話題と小さな話題を関連させている。</u> ・ <u>つなぎ言葉 (and,but,so,too) を使って伝えている。</u> ◎:全部満たしている ○:3つ満たしている △:2つ以下		

【STEP1】 紹介する人の情報をマッピングにまとめましょう。



【STEP2】 お互いに紹介し合い、スピーチ文をより良くするためのアドバイスをし合おう。

アドバイス書くときの注意

【詳しく伝える】、【内容を整理して伝える】の項目に照らし合わせたアドバイスを書きましょう。

【アドバイス】（書いた人： ）

【アドバイス】（書いた人： ）

【アドバイス】（書いた人： ）

【STEP3】 【STEP2】でもらったアドバイスをもとに、スピーチ文をより良くしよう。マッピングに新たに付け加えるときは、赤ペンで書きましょう。

【STEP4】 スピーチ文をより良くするために、紹介する人からどんな情報を得る必要がありますか。

紹介する人から情報を得るためには、紹介する人に _____ することで、

新しい情報が手に入る。

本時の目標

- 【「考える・判断する・表現する力」を身に付ける】
2. 選んだ必要な情報を使って、他者について紹介する。
 3. 他者を紹介するために、他者から情報を聞き出し、必要な情報を選ぶ。

- 【「主体的に学習に取り組む態度」を身に付ける】
2. 相手からのアドバイスをもとに、より良いスピーチになるように改善する。

【STEP1】 カイトはアサミにどんな質問をしているでしょうか。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- (1) 上の本文の疑問文すべてに線を引きましょう。
- (2) アサミのスピーチを聞いて、カイトはなぜ、これらの質問をしたのだと思いますか。

【STEP2】 ペアの人のスピーチを聞いて、どんな質問ができるでしょう。

【STEP3】 ペアの人からどんな質問をされましたか。

【STEP4】 紹介する人から得た情報を新たにマッピングに付け加えましょう。(赤ペンで書く)

【マッピングに付け加えるときの注意点】

- ① 前回のスピーチより、より良くするために付け加える。
- ② 1つの話題について「詳しく伝えている」項目を満たすようになっているか。
- ③ スピーチ全体に筋道が通っており、「内容を整理して伝えている」項目を満たすようになっているか。

本時の目標

【考える・判断する・表現する力】

2. 選んだ必要な情報を使って、他者について紹介する。

【主体的に学習に取り組む態度】

3. 「どんな課題があるか」「次に何を頑張ればよいか」など、自分の学習を前向きに振り返る。

【STEP2】 パワーアップしたスピーチ文を紹介し合い、さらに良くするためのアドバイスをし合おう

【アドバイスを書くときの注意点】

- ① 1つの話題について「詳しく伝えている」項目を満たしているか。
- ② スピーチ全体に筋道が通っており、「内容を整理して伝えている」項目を満たしているか。

【アドバイス】(書いた人:)

【アドバイス】(書いた人:)

【アドバイス】(書いた人:)

【アドバイス】(書いた人:)

【アドバイス】(書いた人:)

【単元の最後に】 単元を通しての振り返りを書きましょう。

それぞれの力について、「できたこと」や「できるようになったこと」を書きましょう。

書くときには、「なぜできるようになったと思うのか」についても書いてください。

また、「もう少しできるようになりたかったこと」や「難しいと思ったこと」、「できるようになるために必要だと思うこと」について、も書いてください。

【新しく学習した文法を使う力について】

【考える・判断する・表現する力について】

【主体的に学習に取り組む態度について】

